

通勤 施策1 通勤時の自転車利用への転換促進
過度な自家用車利用への依存や朝夕の渋滞等の解消のため、通勤手段を自家用車から自転車へ転換することを促す取組みを進める

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け				平成29年度に実施した事業					
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通勤	通行空間	通勤目的の自転車ネットワーク路線の整備	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 【県道】主要地方道豊橋湖西線において、静岡県側の整備済み箇所より西側へ整備工事を実施した。(L=0.31km) 【市道】前田南町1号線ほか1路線において、整備工事を実施した。(L=2.1Km)	自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。	愛知県(東三河建設事務所道路整備課) 豊橋市(道路建設課)
	駐輪	交通結節点における駐輪場整備	行政交通事業者	○	○	サイクル&バスライド駐輪場整備【資料1-1】	豊鉄バスの和田辻東バス停に、駐輪場を整備した。(4台)	交通結節点における駐輪場の整備を行い、自転車利用の促進を図った。	豊鉄バス(株) 豊橋市(都市交通課)
						豊橋市自転車等駐車場の管理・運営	豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)を適正に管理・運営した。また利用者アンケートを通じ、施設利用時間の拡大(始発・終電車対応)のニーズを把握した。	指定管理者制度を活用し、安心・安全な駐輪スペースを提供した。またアンケートにより、利便性向上を図るための方向性が整理できた。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井(株))
						放置自転車対策	①駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行った。 ②豊橋市内6ヶ所の無料駐輪場(城海津跨線橋北、狭間公園南、JR飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR飯田線船町駅前、立花牟呂用水沿線)の維持管理を行った。 自社(豊橋鉄道(株))管理駐輪場への放置自転車を撤去した。	市民生活の安全及び都市機能の維持を図り、もって良好な都市環境を確保した。 撤去したスペースは新規利用者が使用することで自転車利用の促進を図った。また撤去自転車に関してはリサイクルと地域安全の向上に寄与した。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井(株)) (公社)豊橋市シルバー人材センター 豊橋鉄道(株)
	安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施	行政企業	○	○	—————	—————	—————	—————
	意識啓発	企業向け自転車通勤促進セミナーの開催	行政企業	○	○	とよはしエコ通勤実践運動	通勤時間帯における渋滞が激しい県境地域にある事業所(自家用車で通勤する人)を対象に、豊橋市役所で実施している「とよはしエコ通勤運動」のような、通勤手段を自家用車から公共交通機関等へ自発的な転換を促した。	県境地域通勤環境改善推進協議会参画事業所(8社)の担当者向けに学識者によるモビリティ・マネジメント(MM)講習会を開催し、従業員の自転車通勤等を促すための意識啓発の方法などについて担当者の理解を深めた。	豊橋市(都市交通課)

通勤	意識啓発	健康増進のための自転車活用推進	行政企業	○	○	とよはし健康マイレージ事業	市民が健康づくりに取り組むきっかけとすることを目的に実施しており、自転車に関する施策として、健康づくりの取組み目標の1つに「自転車の活用」を提案した。	各種イベントを活用した市民へのPRだけでなく、企業向け健康教育の場において経営者に対してアプローチすることで、本事業を従業員の健康につながる取組として啓発することができた。	豊橋市（健康増進課） 豊橋信用金庫、 東京海上日動火災保険株式会社、 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
		サイクル&ライドの推進	行政企業 交通事業者	○	○	サイクル&ライド駐輪場整備【資料1-2】	渥美線小池駅に駐輪場（約10台）新設整備。	駐輪場の整備を行い、自転車利用及びサイクル&ライドの促進を図った。	豊橋鉄道(株)
						公共交通マップの作成	公共交通の利用促進に向けた取り組みの一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクル&ライドが可能な駐輪場を標記した。	市民にサイクル&ライドが可能な駐輪場の位置を周知することができ、自転車利用の推進が図れた。	豊橋市（都市交通課）
	支援・補助	企業における自転車通勤環境の改善	行政企業	○	電動アシスト自転車購入補助	電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進することで、市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与することを目的とする。	電動アシスト自転車について650台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上、温室効果ガスの排出抑制を図った。	豊橋市（温暖化対策推進室） 市内の自転車販売店	
					環境マネジメントシステム推進事業（豊橋市職員対象）	豊橋市エコアクションプラン（第5次）の推進にあたり、とよはしエコマネジメントシステム（T-EMS）を活用しており、エコ通勤の実施日数を平成28年度比1%以上増加するという目標を掲げている。豊橋市役所職員の研修等を通して、エコ通勤（自転車や公共交通機関などによる通勤）を推進している。	平成28年度比1.9%増加（見込み）	豊橋市（温暖化対策推進室） 豊橋市役所の職員、嘱託員、再任用職員、臨時職員	
					とよはしエコ通勤運動（豊橋市職員対象）	通勤距離区分が2km以上15km未満で自転車通勤の場合に、通勤手当の加算を行った。（平成27年度から、通勤距離区分の拡大及び手当額の引き上げを実施）	自転車通勤者の増加	豊橋市（人事課）	

通 学

施策2 通学時の自転車利用者の安全確保

通学時の自転車利用時の事故減少のため、自転車利用のルール、マナーに関する教育を引き続き実施

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け						平成29年度に実施した事業			
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通学	通行空間	通学ルートにおける危険箇所の解消	行政警察	○	○	交通安全対策事業の実施	交差点等の危険箇所について対策工事を行った。(大岩町)	対策工事により通学ルートの安全性の向上が図られた。	豊橋市(道路維持課)
	駐 輪	交通結節点における駐輪場整備(再掲)	行政交通事業者	○	○	豊橋市自転車等駐車場の管理・運営(再掲)	豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)を適正に管理・運営した。また利用者アンケートを通じ、施設利用時間の拡大(始発・終電車対応)のニーズを把握した。	指定管理者制度を活用し、安心・安全な駐輪スペースを提供した。またアンケートにより、利便性向上を図るための方向性が整理できた。	豊橋市(土木管理課)指定管理者(葛井(株))
						放置自転車対策(再掲)	①駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行う。 ②豊橋市内6ヶ所の無料駐輪場(城津津跨線橋北、狭間公園南、JR飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR飯田線船町駅前、立花牟呂用水沿線)の維持管理を行う。	市民生活の安全及び都市機能の維持を図り、もって良好な都市環境を確保した。	豊橋市(土木管理課)指定管理者(葛井(株))(公社)豊橋市シルバー人材センター
							自社(豊橋鉄道(株))管理駐輪場への放置自転車を撤去した。	撤去したスペースは新規利用者が使用することで自転車利用の促進を図った。また撤去自転車に関してはリサイクルと地域安全の向上に寄与した。	豊橋鉄道(株)
	安全教育	自転車免許制度等の新たな安全教育手法の導入	行政警察学校	○	○	自転車安全安心モデル校の指定	小・中・高の各1校を「自転車安全安心モデル校」に指定し、年間を通して交通安全教室を実施してルールを遵守させ、交通事故抑制教育を行う。(磯辺小学校、南陽中学校、藤ノ花女子高等学校)	交通安全意識高揚を図ることができた。特に高等学校については、通学時の苦情を受けることが減った。	豊橋警察署各学校
						交通安全教室の実施	幼児から高齢者の各世代を対象に、交通安全教育指導者・指導員による交通安全教室を実施した。幼児 99回 8,837人、小学校 140回 10,521人、中学校 16回 4,556人、高等学校等 9回 2,508人、高齢者 35回 1,676人、一般 77回 3,691人、自転車オープンスクール 6回 52人 合計 382回 31,841人 スタントマンによる交通事故再現教室(スケアード・ストレート)の開催 (二川中学校、豊岡中学校) 2回 1,222人	各世代に応じた指導を行うことで、受講者は交通ルールを学ぶとともに交通安全意識の高揚が図られ、結果として人身事故件数が減少した。	豊橋市(安全生活課)豊橋警察署【スタントマンによる交通事故再現教室】(有)シャドウスタントプロダクション、各学校
						自転車免許教室の実施	豊橋工業高校の1年生を対象(280人)に、自転車運転免許教室を開催し、自転車運転免許証を交付した。	交通安全意識と、自転車運転マナーが向上した。(講習がためになったと感じた生徒が9割以上)	愛知県立豊橋工業高等学校 ユタカ自動車学校

通学	安全教育	自転車免許制度等の新たな安全教育手法の導入	行政警察学校	○	○	200日間自転車無事故無違反ラリー	豊橋市内の中学校・高校による200日自転車無事故・無違反ラリーを実施し、達成した学校は表彰する等自転車の交通安全意識の向上と、交通事故防止を目的とする。参加高校11校の内3校達成、中学校23校の内16校達成	自転車利用の生徒への自転車通学者の法令順守と交通マナーの向上が図られた。	豊橋警察署
		自転車利用のメリットの教育	行政学校	○	○	—————	—————	—————	—————
	意識啓発	サイクル&ライドの推進(再掲)	行政企業交通事業者	○	○	サイクル&ライド駐輪場整備(再掲)【資料1-2】	渥美線小池駅に駐輪場(約10台)新設整備	駐輪場の整備を行い、自転車利用の促進を図った。	豊橋鉄道(株)
						公共交通マップの作成(再掲)	公共交通の利用促進に向けた取り組みの一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクル&ライドが可能な駐輪場を標記した。	市民にサイクル&ライドが可能な駐輪場の位置を周知することができ、自転車利用の推進が図れた。	豊橋市(都市交通課)

買物

施策3 買物時の自転車利用環境の向上
誰もが安心して買物ができるようにするため、通行や駐輪のための環境を整備

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け						平成29年度に実施した事業			
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
買物	通行空間	買物目的の自転車通行空間の整備	行政警察		○	自転車通行空間の整備(再掲)	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 【県道】主要地方道豊橋湖西線において、静岡県側の整備済み箇所より西側へ整備工事を実施した。(L=0.31km) 【市道】前田南町1号線ほか1路線において、整備工事を実施した。(L=2.1Km)	自転車と歩行者、自転車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。	愛知県(東三河建設事務所道路整備課) 豊橋市(道路建設課)
						ストリートデザイン事業実施設計等委託業務	中心市街地に「歩く楽しみ」という新たな魅力を加えることにより、中心市街地への来街、居住の促進と回遊性を高めることを目的としており、その中で自転車に関することも検討した。 ・対象路線：萱町通り、水上ビル通り(北側) ・自転車通行空間の検討、駐輪施設(サイクルスタンド等)の検討	まちなかの自転車通行空間の確保や、駐輪環境向上のための検討を行った。	豊橋市(まちなか活性課) 各通りに係る自治会、発展会、等
	駐輪	まちなかにおける駐輪環境の向上	行政企業民間団体	○	○	豊橋市自転車等駐車場の管理・運営(再掲)	豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)を適正に管理・運営した。また利用者アンケートを通じ、施設利用時間の拡大(始発・終電車対応)のニーズを把握した。	指定管理者制度を活用し、安心・安全な駐輪スペースを提供した。またアンケートにより、利便性向上を図るための方向性が整理できた。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株)
						まちなか駐輪環境向上検討会議の開催	上記調査結果を踏まえ、ワーキングを開催し、各課と駐輪施策の実施に向けた検討を行う。	平成29年度はワーキングを1回開催し、まちなかの駐輪環境向上のための駐輪施策の実施に向けた検討を行った。	豊橋市(まちなか活性課) 豊橋市(土木管理課) 豊橋市(都市計画課) 豊橋市(都市交通課)
						放置自転車対策(再掲)	①駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行う。 ②豊橋市内6ヶ所の無料駐輪場(城海津跨線橋北、狭間公園南、JR飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR飯田線船町駅前、立花牟呂用水沿線上)の維持管理を行う。	市民生活の安全及び都市機能の維持を図り、もって良好な都市環境を確保した。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株)(公社)豊橋市シルバー人材センター
						ストリートデザイン事業実施設計等委託業務(再掲)	中心市街地に「歩く楽しみ」という新たな魅力を加えることにより、中心市街地への来街、居住の促進と回遊性を高めることを目的としており、その中で自転車に関することも検討した。 ・対象路線：萱町通り、水上ビル通り(北側) ・自転車通行空間の検討、駐輪施設(サイクルスタンド等)の検討	まちなかの自転車通行空間の確保や、駐輪環境向上のための検討を行った。	豊橋市(まちなか活性課) 各通りに係る自治会、発展会、等

買物	安全教育	自転車の貸付及び補助と併せた安全教育実施	行政	○	○	自転車安全利用の教育	三人乗り自転車を貸出しする際に、交通安全利用の講習会を受講してもらい、交通安全を呼び掛けた。	自転車安全利用の啓発を図ることができた。	豊橋市（安全生活課） 豊橋市（保育課）
						自転車に関する交通安全教室の実施	自転車に関する交通安全教室受講者に対し、自転車ヘルメットの割引券を配布することにより、自転車乗車中のヘルメット着用を促した。	自転車安全利用の啓発を図ることができた。	豊橋市（安全生活課） 豊橋警察署 事業協力店
	支援・補助	自転車普及のための貸付及び購入補助	行政	○	○	電動アシスト自転車購入補助（再掲）	電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進することで、市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与することを目的とする。	電動アシスト自転車について645台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上、温室効果ガスの排出抑制を図った。	豊橋市（温暖化対策推進室） 市内の自転車販売店
						三人乗り自転車貸出事業	子育て家庭の支援の一環として、満1歳以上4歳未満及び満2歳以上6歳未満の子を2人以上養育しており、豊橋市内に居住している家庭を対象に、三人乗り自転車を貸し出し 貸出自転車／台数 電動アシスト付自転車／85台 利用料金 1,000円／月	三人乗り自転車の貸出を希望する保護者に対して、延べ90台を貸し出し、子育て支援及び三人乗り自転車の普及啓発をすることができた。	豊橋市（保育課） （公社）豊橋市シルバー人材センター
						自転車ヘルメット購入補助事業	自転車に関する交通安全教室受講者に対し、自転車ヘルメットの割引券を配布することにより、自転車乗車中のヘルメット着用を促す。補助金利用件数 596件	ヘルメット着用が促進された。	豊橋市（安全生活課） 事業協力店

共通

その他の実施施策

複数の目的に共通する取り組みや、自転車のイメージアップ及び日常の自転車利用に繋げるための取り組み等

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け						平成29年度に実施した事業			
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
共通	通行空間	自転車ネットワークの構築	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備(再掲)	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 【県道】主要地方道豊橋湖西線において、静岡県側の整備済み箇所より西側へ整備工事を実施した。(L=0.31km) 【市道】前田南町1号線ほか1路線において、整備工事を実施した。(L=2.1Km)	自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。	愛知県(東三河建設事務所道路整備課) 豊橋市(道路建設課)
	利用環境	自転車利用環境向上のためのスポットづくり	行政企業民間団体		○	自転車ラック設置	自転車による来園者のなかで、スタンドのないロードバイクタイプが増加している。そのため、既設の自転車ラックの一部をロードバイク用に改修を実施した。	ロードバイクタイプの駐輪に対応し、来園者の自転車利用が増加した。	豊橋市(動植物公園)
	安全教育	対象・課題に応じた安全教育の実施	行政警察学校企業民間団体	○	○	交通児童館事業	交通児童館、こども未来館において自転車乗り方教室などの行事を開催するとともに、遊びを取り入れながら交通ルールを学ぶ教室を開催し、児童の健全育成を図った。	利用者を中心に交通ルールを学ぶ機会を提供し、児童の健全育成を推進できた。	豊橋市(こども未来館) 指定管理者
						交通安全教室の実施(再掲)	幼児から高齢者の各世代を対象に、交通安全教育指導者・指導員による交通安全教室を実施した。幼児 99回 8,837人、小学校 140回 10,521人、中学校 16回 4,556人、高等学校等 9回 2,508人、高齢者 35回 1,676人、一般 77回 3,691人、自転車オープンスクール 6回 52人 合計 382回 31,841人 スタントマンによる交通事故再現教室(スケアード・ストレート)の開催(二川中学校、豊岡中学校)2回 1,222人	各年代に応じた交通安全教室を開催したことにより、自転車の安全な乗り方や交通ルール、マナーを身につけることができ、交通事故が減少した。	豊橋市(安全生活課) 豊橋警察署 【スタントマンによる交通事故再現教室】(有)シャドウスタントプロダクション、各学校
						自転車指導啓発重点地区・路線の選定と指導取締活動の推進	自転車事故の多発する地区・路線を「重点地区・路線」として指定し、同所において自転車利用者に対する指導取締りを実施する。 重点地区(豊橋駅前・豊橋公園周辺) 重点路線(豊橋環状線 東田坂上～上立会橋南交差点の間)	重点に指定した場所において交通事故抑止されたと思われる。	豊橋警察署
						自転車安全・快適利用啓発事業	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」ステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	自転車の安全・快適性の向上だけでなく、路線バス運行上の安全確保にもつながった。	豊鉄バス(株)
	意識啓発	自転車保険のPR	行政警察学校	○	○	自転車保険の加入促進	自転車保険をPRするチラシを作成し、交通安全教室などで市内全高校(1年生)に配布を行った。	自転車保険の周知と加入促進が図られた。	豊橋市(安全生活課)

共通	意識啓発	利用目的に応じたメリットの周知	行政 学校 企業 民間団体	○	○	カーフリーデー・モビリティウィーク	都市交通を切り口とした都市環境の改善や賑わいのあるまちづくりを目的とし、自転車や公共交通、徒歩を用いたイベントを行うことによって、「かしこい車の使い方」を市民と行政と一緒に考える取組を行った。	イベントを通じて「かしこい車の使い方」を周知することができた。 イベントでは自転車シミュレーターを体験することで、交通ルールを楽しく学んでもらいながら自転車の利用促進をPRした。 カーフリーデー参加者 2,000人 自転車シミュレーター体験者 120人	豊橋市（都市交通課） 豊橋市（健康増進課） 豊橋鉄道(株) 豊鉄バス(株) 豊橋タクシー協会
		自転車マップ等の作成	行政 学校 企業 民間団体		○	_____	_____	_____	_____
	レジャー	サイクリング・ポタリングコース等の設定	行政 民間団体		○	サイクルトレイン（渥美線車内自転車お持込サービス）	特定日を除いた土休日のみ持ち込み可能であったのを平日も指定時間10:00~14:59内に限り持ち込み可能とした。 (1台当たり100円)	自転車利用者の利便性向上が図られた。	豊橋鉄道(株)
			行政 民間団体		○	第11回とよはしとよねサイクルマラソン	この大会はレースではなく、交通ルールを守った自分のペースで安全に走る大会である。岩田運動公園～豊根村大入の郷の間、往復約160kmと往路のみの約80kmのコースがある。かつては豊橋から佐久間ダムを経由し、日本一小さな富山村を往復するコースであったが、平成18年の豊根村との合併を機に、折り返しを豊根村に変更している。東栄町でのエイドステーション、豊根村の皆さんの手打ちそばやとん汁の昼食とアットホームな大会である。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資するとともに自転車を楽しむ機会を増やした。	とよはしとよねサイクルマラソン実行委員会（豊橋自転車競技協会）、 豊根村、 新豊根ダム水源地域ビジョン推進協議会、 大入の郷、 (公財)豊橋市体育協会
		自転車のイベントの開催	行政 民間団体	○	○	市民スポーツ祭'2017 【自転車】 兼 平成29年度豊橋自転車競技大会	市民スポーツ祭においては、市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアルを行う。小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。普段走ることのない競輪場のトラックでの競技を経験して自転車競技の楽しさに触れてもらう。また、豊橋自転車競技大会は、昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図っている。競技種目により豊橋市長賞、市議会議長賞、体育協会理事長賞が贈られた。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資するとともに自転車を楽しむ機会を増やした。	豊橋自転車競技協会 豊橋市、 豊橋市教育委員会、 (公財)豊橋市体育協会、 (財)日本自転車競技会 中日本地区、 (一社)日本競輪選手会愛知支部

共通	レジャー	自転車イベントの開催	行政 民間団体	○	○	第14回豊橋万場クリテリウムロードレース大会	愛知県自転車競技大会の10周年を記念し第1回が企画され14年目を迎えた。万場調整池の管理用通路を周回コースとしてロードレースを開催。クリテリウムとは一般交通から遮断された周回コースである。種目は4時間エンデューロと個人ロードレース、チームタイムトライアルがありそれぞれに部門が分かれている。未就学児から実業団選手まで幅広い年代が自転車競技を楽しめる大会である。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資するとともに自転車を楽しむ機会を増やした。	豊橋万場クリテリウムロードレース実行委員会(豊橋自転車競技協会)、豊橋市、豊橋市教育委員会、(公財)豊橋市体育協会、独立行政法人水資源機構
						第35回とよはし・チーム・ピスト	高校・大学の自転車競技部を除く町のレーシングチームを対象に、スプリント、ケイリン、エリミネーション、チームスプリントのトラック競技を行いチームでの総合得点を競い合う。アマチュアのトラック競技の大会が少なく遠方からの参加者も多い。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資するとともに自転車を楽しむ機会を増やした。	豊橋自転車競技協会、(公財)豊橋市体育協会、愛知県自転車競技連盟、(一社)日本競輪選手会愛知支部
						第5回ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル、のんほいきッズバイクフェスの開催	豊橋総合動植物園公園(のんほいパーク)を会場に特設コースを設営。ロードレースとキッズバイクフェスの2種目を実施。ロードレースは、4歳児から小学6年生までの101名が参加。上位3位までを表彰。キッズバイクフェスは、第3回以降毎年実施しており、今回は136名が参加。未就学児から小学6年生まで8部門で0.55km~6.66kmの距離で競った。	今回は、キッズ対象のランバイクに加え小学生対象にロードレースを併催、エントリー数は1.5倍となった。祖父母等を含む3世代による家族応援等の有料入場者を含めると1,000名を超えた。今後は小学生対象のロードレースを参加しやすいカテゴリーに見直し県外からの入場者を増やす施策を考えて行く。	(一社)豊橋観光コンベンション協会、豊橋市、豊橋商工会議所、豊橋自転車競技連盟、豊橋市総合動植物公園、(公財)豊橋みどりの協会・豊橋市体育協会、(株)ダイナコ、(株)エフエム豊橋
						「環境フェスタ」などでの自転車の提供	大きなごみとして排出された自転車について、職員による整備のうえ、抽選による無償提供を行った。	市民に対するリサイクル意識の啓発と自転車の利用促進を図った。	豊橋市(業務課) 530 運動環境協議会
						競輪開催事業	自転車競技法に基づき、普通競輪11開催48日(うちミッドナイト競輪4開催12日)、記念競輪1開催4日の年間12開催52日を行った。	平成29年度は、毎年開催している記念競輪に加え、28年度と同様に佐世保競輪場を借りて、ミッドナイト競輪を開催し収益向上を図った。その結果、一般会計へ1億8千万円繰出すとともに、自転車振興に寄与することが出来た。	豊橋市(競輪事務所) (公財)JKA (一社)日本競輪選手会 (公財)全国競輪施行者協議会 日本トーター(株)
						バンクにおいでDAY	豊橋競輪場において、バンク走行体験、バンクウォーク、キックバイク体験、サイクルスピリッツ、地元競輪選手による模擬レース、けいりんマルシェ等を行った。	合計1,728名の参加があり、自転車に親しむきっかけとすることができた。	豊橋市(競輪事務所) 日本トーター(株) (一社)日本競輪選手会愛知支部